

学び愛インドネシア・ごみ銀行とコンポスの活用と普及

ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

リーダー養成学校 **40人**

環境理解イベント **300人**

今年度計画の達成度 **95%**

目標達成度 **40%**



最初に始まったごみ銀行の調査・取材

活動内容と成果

生徒・市民向けにごみ分別への理解を浸透させ、またコンポスト製作とごみ銀行の利用を促進し、自立的な環境保全体制を構築するため、中学校でごみ銀行の活用とコンポスト製作方法を教える。そこで使用する教本を開発し配布、指導を行う。本年度は、行政機関やNGOと協働で環境マルチステークホルダー委員会を結成した。この委員会と共同で国内他地域・海外におけるごみの分別や再利用等の取組みを調査・取材した。これをまとめ、同市中学生が自身で考え・行動するのを促すために教本の案まで作製した。また、40人参加した合宿も行った。

課題

ごみ銀行が誕生し全国的に広がりを見せているが、未だに利用者は一部の住民に限られている。また、ごみからリサイクル品を作っているが新たな問題を引き起こしている。

目標

南タンゲラン市の市民の行動が環境指向型となり、同市が環境モデル都市に変貌する。



日本のリサイクル店への聞き取り調査・取材

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

行政との協働事業の際、日程調整が大変難しく直前にならないと決まらない。いくつかのプランを準備しておく必要がある。

■ 工夫した点

多くの人に活動やイベントを理解してもらうために、SNSで積極的にライブ配信をした。

| 活動地域 |  インドネシア

〒930-1313
富山県富山市中滝142-9
E-mail : sb930jp@yahoo.co.jp
<http://www.baliwind.com/>



今後の
展望

中学校で使用する「ごみ銀行の活用とコンポスト製作方法」の教本であるため、もう少し取材を進める他、教育大学との連携を深め興味関心が高まる使い易い教本の作成を進める。